

## 岩美南小学校オリジナルソング 第4弾『早春のつばさ』完成!!



オリジナルソングと言えば、岩美南小学校。このたび第4弾『早春のつばさ』が完成し、3月19日(金)に行われた第9回卒業証書授与式でお披露目されました。

今回も平家陽子先生作詞、長江昭彦先生作曲によるものです。6年生の担任であった平家先生。小学校を巣立っていく大好きな子ども達へのプレゼントとして、作詞することになりました。この詞には、子ども達と過ごした日々の名残惜しさと、未来へ向かって羽ばたいてほしいという気持ちを込めました。その気持ちに込めてくださった長江先生。しつとりとしたメロディにのせ、6分間の超大作に仕上げました。

体育館に歌声が響き渡った『早春のつばさ』。卒業生はもちろん保護者を始めとする参加者にとっても、忘れられない最高の宝物となりました。

## きれいで活気あふれるうるおいのある川にしたい 再会を願い サケの稚魚放流

3月14日(日)、『小田川・荒金川に魚を蘇らせる会』が主催しているサケの稚魚放流が、岩常橋下流の河川敷で行われました。毎年この時期に、町内各小学校等によびかけ、サケの卵をふ化させ、放流しています。

参加者全員で岩美南小学校教諭が作詞作曲した「きつともどるよふるさとに」を熱唱した後、4年後の再会を願いながら、サケの稚魚約5,000匹を放流しました。この活動も今年で7回目。かつて鉱山跡から流れ出す水の影響で魚が棲めない川も、この会の方を始めとする地域のみなさんの活動により、昨年の秋には、20〜30匹が遡上するなどの成果がみられています。



「生まれ故郷に帰ってくるサケのためにも、この川をきれいで活気あふれるうるおいのある川にしていきたい。」そんな西浦会長を始めとする会の皆さんや地域のみなさんの熱い気持ちが、サケにも届き、また多くのサケが遡上してくることでしょ。4年後の再会が楽しみです。

## 2010年全国新年号 『機関紙コンクール』優勝

みんなの思いを全国に発信したいと応募した陸上新聞がこの度2010年全国新年号機関紙コンクール市民団体等機関紙の部で最優秀賞に輝きました。

講評では、「村をつくるのは人」として、多くの人の声を載せる事に努力してきたというだけあります。編集姿勢や読者に「読ませる力」をもった取材・記事と親しみやすい紙面づくり、紙面の仕上がりとも高い水準で頭がさがります。」と大変高い評価をいただきました。

これからも「地域のこころをつなぐ陸上新聞」として皆さんに親しまれ愛される新聞づくりに努めていきたいと思えます。

